菊川のHOTな情報が分かる！イベント　ひと　スポーツ　まち

2017
10

Vol.161

きくがわ

タウン情報

世帯数	3,252
人口	7,988
男	3,858
女	4,130

(8月末菊川の人口)

菊川のひと
菊川探訪
笑顔リレー
公民館文庫新刊情報　ほか

発行：住みよい菊川をつくる会　問合せ：菊川公民館　0834-62-2801　写真：ネイチャークラフト（たぬきの月見）

きくがわニュース

イベント	日時	場所
下上地区運動会	10月15日（日）	菊川小学校運動場
加見地区運動会	10月15日（日）	菊川中学校運動場
四熊地区運動会	10月1日（日）	四熊小学校運動場
小畑秋祭り	11月5日（日）	小畑小学校運動場
菊川まつり	11月19日（日）	菊川小学校運動場

犬の写真大募集！

本誌、来年の正月号（フルカラー）の表紙を飾る犬の写真を大募集します！来年の干支が戌年による企画です。あなたのお家のかわいい愛犬の写真・データを是非ご提供ください。

お気軽にご応募、お問い合わせください。

【募集内容】
・犬の写真、デジカメまたは携帯の画像データ
・応募の数により掲載写真が小さくなります。

【募集期間】
12月5日まで

【問合せ】
菊川公民館窓口または電話（62-2801）

菊川保育園　ウサギ小屋完成

7月15日（土）、菊川保育園のウサギ小屋が完成しました。このウサギ小屋は、保育園がウサギを飼うことになったことをキッカケに、菊川地区の大工さんを始めとした有志の人達と、小学生などの子供5名で一緒に作った作品です。

現在、ウサギ小屋には3匹のウサギが飼われており、それぞれの名前はこれから募集するとのことでした。

人権講演会開催のお知らせ

周南市菊川ブロック人権教育推進協議会主催の人権講演会を開催します。無料で誰でもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

【日時】平成29年11月20日　月曜日
14時15分～15時15分ごろまで

【会場】菊川小学校　体育館

【講師】奈佐　誠司　さん
日本初プロの車イスダンサーとして活動し、数々の賞を受賞。95年には「24時間テレビ～愛は地球を救う～神戸のベット達」で総合プロデュースを務め同番組に出演。持ち前の明るさと行動力で様々なイベントや講演会で活躍中。

引き渡し訓練を実施

9月20日（水）に、菊川保育園、幼稚園、小学校合同で大規模災害等発生時の幼児や児童の引き渡し訓練を実施しました。引き渡し訓練とは、災害時、児童だけで帰宅することが危険と判断した際、保護者等が直接お迎えにくる訓練のことをいいます。当日は、災害を想定し危機感をもって訓練に臨んだ結果、非常にスムースな引き渡しが行われていました。

公民館で夏休み講座開催！

菊川公民館で小学生を対象とした夏休み講座を開催しました。毎年恒例の菊川寺子屋（小学生の自主学習の場として公民館を開放）や絵画教室など4つの体験教室を開催しました。

絵画教室では今年も新南陽高校の美術部の生徒が11名ボランティアで参加してくださり、小学生は高校生から絵を上手に描く技を習っていました。

各地区の夏まつりの様子

下上、加見、四熊、小畑地区の夏まつり（盆踊り）がそれぞれ開催されました。小畑地区の盆踊りのみ残念ながら雨により室内で開催となりました。しかしながら、どの地区の夏まつり（盆踊り）会場からもベテランの太鼓を叩く音と、小学生～高校生までの若い世代が叩く元気いっぱいの太鼓の音が響きわたり、活気あふれる夏の行事となっておりました。

菊川のひと

フラダンスを通じて社会貢献と笑顔を

根塚　スミ枝　さん

富岡分館でフラダンス教室の講師として約20名の生徒を指導している根塚スミ枝先生。フラダンスを通じて社会貢献をされています。

-根塚先生のご出身は？

（根）新南陽駅の近くです。向土井に住んで40年くらいになります。当時の向土井は田んぼと畑ばかりでした。

-フラダンスを始めたきっかけは？

（根）レインボー倶楽部というチャリティー団体をたちあげました姉に誘われてフラダンスを始めました。最初は人前で踊るなんて好きじゃなかったんです。人の後ろが一番居心地が良いなぁと思える性格なんですよ（笑）

-フラダンスの魅力を教えてください

（根）フラダンスの良いところは、健康になれること、どの曲も心地よく踊っていると癒されること、姿勢がよくなることです。それとフラダンスにはアロハスピリット（優しさ、調和、心地良さ、謙虚さ、忍耐強さ）というものがあり、知れば知るほど奥が深いことに驚かされます。

アロハスピリット

Aアホヌイ（忍耐強さ）
Hハアハア（謙虚さ）
Oオルオル（心地良さ）
Lロカヒ（調和）
Aアカハイ（優しさ）

-どんな活動をしていますか？

（根）菊川地区のおまつりや敬老会などのイベント出演、福祉施設でのフラダンスの披露や、それからチャリティー活動への協力をしています。

-チャリティー活動とは？

（根）チャリティー活動はレインボー倶楽部で年に1回、これまでに10回開催しています。そこに富岡フラダンス教室も出演頂いています。最初の頃は市民館で開催していましたが、大変有りがたいことに千人近いお客さんが来てくださるようになり、最近は文化会館で開催できるようになりました。

-千人のお客さんは凄いですね。

（根）はい、菊川地区からたくさんの方が文化会館に来ていただけます。本当にありがとうございます。このチャリティー活動で得た収益金で市内の施設に介護車輌や車イスを贈呈したり、被災地へ義援金を送っています。

-これからの目標を教えてください。

（根）フラダンスを通じて社会貢献ができる教室になれば良いなと思います。また、フラダンス教室の仲間や家族にいつも助けられて今があると思っています。周りの仲間と一緒にみなさんがイキイキとした楽しいフラダンス教室になれば良いなとも思っています。

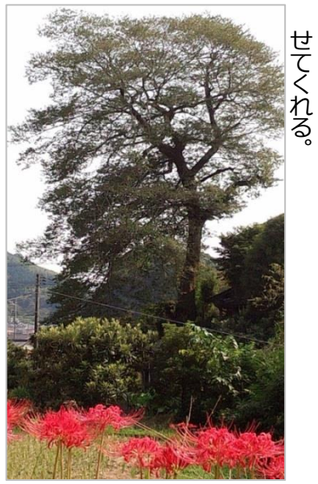
菊川探訪

第30回

大きな木の尊厳（ムクノキ）

秋の訪れと共に、落葉樹の葉が舞い降りて来て、箒で掻き集める光景は絵になる。その木が巨木であると、その木の下は絨毯になり、乾いた葉の擦れる音は、音楽になる。周南市にも、昭和30年代には、日本最大級の「ムクノキ」が祀られ、子供達が遊んでいた。この根元には「弁天様」が祀られ、子供達が遊んでいた。このムクノキの実はムクドリの大好物であり、小鳥は大きな木で守られて実を食べ、子供たちは楽しい鳴き声も聞き、生命の尊厳を肌で感じたであろう。

まど・みちおさんの詩「おおきな木」の中にある「あめのひ　かぜのひ　がんばって　こんなに　おおきく　なったのか・・・しずかにたっている　おおきいき　おおきいき　むらじゅうを　みおろして」の様な巨木が、この菊川地区にある。巨木や名木を、旧徳山市は「徳山百樹」（平成2年発行）として、編集している。東武井に遠くからも見える「ムクノキ」があり、知れば知るほど奥が深いことに驚かされます。



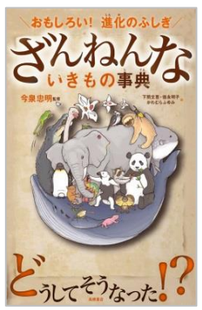
公民館文庫 新刊入荷!!

★芥川賞★

『影裏』
沼田　真佑
震災後に姿を消した釣り仲間の男を捜すうちに彼の意外な一面が明らかになってきて…??美しい情景描写を交えた品格ある短編小説です。

☆直木賞☆

『月の満ち欠け』
佐藤　正午
物語のテーマは「生まれ変わり」。
月が欠けてもまた満ちるように、死んでも生まれ変わりを繰り返す女性を描いた作品です。

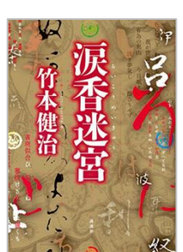


『ざんねんな　いきもの事典』
今泉　忠明
話題作が菊川公民館文庫に登場!!
笑えて、ちょっとためになる“ざんねん”な生き物の真実がたっぷりつまった１冊です。

『おかん』
平田　昌宏（文）
平田　景（絵）

『回帰』
今野　敏

『ジェリーフィッシュは凍らない』
竹本　健治



『涙香迷宮』
竹本　健治

『アキラとあきら』
池井戸　潤

『神の涙』
馳　星周

笑顔リレー

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部（菊川公民館内）までご連絡ください。

あおと　くん
（９ヵ月）
早く歩けるといいね!!

ふうか　ちゃん
（１歳）
上手にあんよが出来るようになったよ！

かのん　ちゃん
（２歳）
これからも元気に大きくなってね！